

令和6年度 大田区立北糸谷小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

○開校148周年を迎えた歴史のある学校である。学校規模は児童数291人(9月1日現在)、通常級は12学級で算数・英語・国語等学級を併設している。ここ数年、学区外からの入学者が増加して2学級を保っている。
○平成30・31年度に東京都プログラミング教育推進校、令和元・2年度は大田区家庭学習研究推進校、令和2・3年度は大田区キャリア教育研究推進校として研究発表をしてきた。令和5・6年度、再び大田区教育研究推進校としてキャリア教育の研究を進めている。また、文科省国立教育研究所実務研究協力校としての役割を担っている。「主体的に取り組む児童の育成」を目指したキャリア教育の実践は、昨年度、文部科学大臣表彰を受賞した。
○学校の課題は「主体的に学びに取り組む力の育成」、「発達障害や不登校など配慮を要する児童への対応」である。研究テーマを「主体的に取り組む児童の育成～キャリア教育の実践と評価～」として、「これまでと今までからになげる」魅力ある教育活動を創出していく。今年度も、高学年は教科担任制を実施し高い授業を目指す。通知表の評価を2回に分けて、次につながる評価のあり方についても追究する。配慮を要する児童への対応は、校内委員会を中心として関係機関と連携して組織的な対応に努めている。
○地域や保護者による大変協力的であり、地域の人材や環境を活用した様々な教育活動を展開している。「合言葉は『来きたい学校・帰りたい家庭・住みたい地域』」今年度よりコミュニケーションを取るとして、一層連携を深めている。

令和7年2月18日

○ 自己評価及び学校関係者評価の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改進策	学校関係者記入欄 コメント
							評価	人数
生産性 を創造する 社会を 育成し ます	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学習や科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。 ②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。 ④特別活動を要にキャリア教育を推進し、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や実践力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	は、考える力がもつづく4:いをしおり、プログラミングをしたりすることができるまでの質問に「おおむねできた」と回答した児童の割合が4:90%以上	3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	A 10	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きる子どもたちに必要な教科等横断的な学習の機会を提供している」と回答した児童の割合が4:90%以上	3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きる子どもたちに必要な教科等横断的な学習の機会を提供している」と回答した児童の割合が4:90%以上	B 1	○教科「おおむねできた」と全教員が回答した。 ○学校の実施計画を作成することで、町の特性を生かして活動していくとともに、地域に対して愛情がわき、とてもよい取組である。また、こどもたちの探究心にもつながり、意欲的に学ぶ姿が印象的だった。 ○平成30年度より様々な教育に取り組み、成果を上げているところを含む。 ○日本学校でのキャリア教育を地域と連携を通じて推進することは、こどもたちの将来だけでなく、地域の発展に寄与するものと考える。また、こどもたちの将来の夢や目標をより具体的に描くことが可能になると思う。
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きる子どもたちに必要な教科等横断的な学習の機会を提供している」と回答した児童の割合が4:90%以上	3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きる子どもたちに必要な教科等横断的な学習の機会を提供している」と回答した児童の割合が4:90%以上	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きる子どもたちに必要な教科等横断的な学習の機会を提供している」と回答した児童の割合が4:90%以上	3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	・保護者アンケート「学校は、キャリア教育やプログラミング教育など、未来社会に生きる子どもたちに必要な教科等横断的な学習の機会を提供している」と回答した児童の割合が4:90%以上	D 1	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	A 9	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	B 2	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・本校では、高学年の1年間の英語学習のまとめとしてTUGIを行っている。英語で解説を深めると児童の英語力が伸びる。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・本校では、高学年の1年間の英語学習のまとめとしてTUGIを行っている。英語で解説を深めると児童の英語力が伸びる。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	D 1	
お世帯 お界別 たと つる が人 材國 際育 都成 します	英語でのコミュニケーション能力を高めるとともに、我が國や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 ②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 ③現代社会における地域規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	A 9	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	B 2	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	D 1	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・ALTは1年間の中で、低学年には8時間、中高学年には2時間、高学年には160時間配置されている。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。		
た個人 め人別 のひ基 と標準 り3と が個 る性 力と を能 育力 成し し発 揮す する	児童・生徒が豊かな人生を歩いていく上に基礎となる力として、豊かな心や、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳を中心とした各教科等での学習などを通じて道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。 ②学習習慣熱度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。 ③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健やかな体を育成している。 ④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。 ⑤読書活動をキャリア教育に位置付けて推進し、豊かな心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・道徳授業地区公開講座では、校内統一テーマで道徳授業を公開したり外部講師を招いてテーマ別で道徳授業を行なっており、児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会が増やせる。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり、大田区のこともより深く学ぶことも大切であると考える。	A 11	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	児童アンケート「わたしは英語を使ってALTや先生、友達と一緒に学ぶことを楽しんでいます」と回答した児童の割合が4:80%以上	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	・道徳授業地区公開講座では、校内統一テーマで道徳授業を公開したり外部講師を招いてテーマ別で道徳授業を行なっており、児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会が増やせる。 ・児童が得た実感などを語る際は、英語で話す機会を増やすことで、児童の英語力が伸びる。 ・他の項目に比べて、やや低めの児童評価をされている。この取組内容は選択教育、科学教育にも通じることかと思う。 ○地域を知ることの大切であり		

学個校別力目標4 教師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っています。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っています。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っています。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 教員アンケート「わたしは、本校でやりがいをもって働いています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した教職員の割合が4:80%以上	会議の精選を行い、先生方が教材研究に励みたり、様々な行事や学年会議等で意見交換を行っている。また、先生の方は、それぞれ校務分掌の仕事を行ったり、授業の準備をしたりしている。	A 11	<p>○教育費を組む会でも話題になった「若手教員の育成」について、本校ではOJTなどを用い、教員の質の向上をしていくことが感じ取れた。</p> <p>○研究発表を見ると、教職員の皆さんが、やりがいをもって取り組んでいます。何よりも内意識で誇らしく思った。引き続いだり、職場で育てることを重視する。</p> <p>○日々、こどもたちの未来のために全力で教育に献身的な取組に携わっておられる先生方により敬意を表す。</p>
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	4: タイムシテムによる超過時間が1か月平均3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	B 1	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均4:75%以上 3:60%以上75%未満 2:50%以上60%未満 1:50%未満	4: タイムシテムによる超過時間が1か月平均4:75%以上 3:60%以上75%未満 2:50%以上60%未満 1:50%未満	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	4: タイムシテムによる超過時間が1か月平均3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	D 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	4: タイムシテムによる超過時間が1か月平均3:70%以上80%未満 2:60%以上70%未満 1:60%未満	A 12	
			4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	B 0	
			4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	D 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	A 12	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 会議の精選による超過時間が1か月平均4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	B 0	
自個別の自ら学習する力を引き出すことを重視する	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況に合わせて教育環境等を整え、とどまらず相談相談の充実度を図ることで、児童・生徒が自分らしい生き生きと生きるためにの手びき支援します。	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っています。</p> <p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを図った指導や支援を行っています。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	A 12	<p>○動いている保護者が多い中で登校支援の一環として迎えに来ていたりすることが大変助かっている。たゞ、支援員の負担が多くなることは心配である。また、別室登校している子どもに対する多くの学習支援を検討していただきたい。</p> <p>○アシスタントは、良くも悪くもどちらに迷っている感じである。</p> <p>○校内における支援体制は、ひと前前に頼る感がある。教員の負担が減ることに喜ばしいことはある。</p> <p>○インクルーシブ教育を推進するためにも様々な支援員の方々との情報交換を行い、その様子、結果を伝えていただきたい。</p> <p>○児童の個々の状況を深く理解して、心に寄り添う教育を実践していることは素晴らしいと思う。温かく細やかに対応が多くの児童や保護者に希望を与えると期待している。</p> <p>○いじめのアンケートの内容や登校の状況、本校の取組の結果によりどう変化したのか等、具体的な様子を学校運営協議会等で協議するといよい。</p>
			4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	B 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	D 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	A 12	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	B 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	D 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	A 12	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「わたしは安心して働いています」との質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 登校支援員の方の協力を得たり、教室には新しい児童登校支援員がいる。児童登校支援員が児童一人一人が何をやら何をやめてるようしている。	B 0	
安柔個心軟別なで自教創標育造6環的境なを学つ習く空間とすすめ安全	学校施設において、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>③避難訓練や安全指導などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p>	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	A 12	<p>○外部人材を招いて、職業のことや社会の仕組みなどを直感的に見て、実際に体験することで、多くの学びにつながり、思ってもいると思う。</p> <p>○地域との連携により、地域社会に根差した学びを得るだけでなく、地域全体の協力によって未来を担う子どもたちを育む環境が実現されていると思う。</p>
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	B 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	D 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	A 12	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	B 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	C 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	D 0	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	A 12	
			4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行って、学校の安全体制もできています」という質問に対する回答は「はるはる」「はるはる」と回答した児童の割合が4:90%以上	4: 3年生は工場見学やスーパー見学、4年生や5年生はIT企業との連携を通じたもので、6年生は様々な関係機関と連携して外郭人材を用いたもので、7年生は、ICTを用いて積極的に情報力を発展させたり、世の中の中の仕組みを理解したり、よくするような学習活動を多く行なうことができる。	B 0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。